



知小だより

学校ホームページ : <http://www.shirisho.club/>

学校教育目標

- ◎ 「あかるく」…徳育
- ◎ 「たくましく」…体育
- ◎ 「のびゆく子」…知育
- <↑「地域の人々」…郷育>

令和4年4月6日 知内町立知内小学校

知小

令和4年度のスタートにあたって ～変わる知内小～

知内小学校長 池田 克己

令和4年度の知内小学校の教育活動がいよいよスタートしました。大きな壁のように積もっていた雪もいつの間にか消え、春の風を感じ、日差しのあたたかさを感じる中で新学期をむかえることになりました。しかし、新型コロナウイルス感染症は、まだまだ終息をみることはありません。昨年度同様に、今年度も引き続き感染防止対策を日常的に行いながら教育活動を続けていくこととなります。

そのため、子供たちや保護者の皆様には、これまで同様に感染防止のための取組とともに学校行事等におけるリスク回避のための配慮に関して、ご理解とご協力をいただきますよう改めてお願い申し上げます。

さて、今年度の児童数は、新1年生20名が入学し、全校児童119名となります。(昨年度とまったく同じ人数です。)知内小の子供たち119名一人一人が「できた!」「わかった!」という学びの実感や「こんなことをしたい!」「こんなふうにしよう!」という意欲をたくさん持ち、たくさんの方が実現できることで、毎日の学校生活が充実したものとなり、楽しい学校生活が送れるようにしていきたいと思えます。そのために、教職員全員が力を合わせ、指導にあたってまいります。

そこで、今年度の教育活動を進めるために重点教育目標を

自ら関わり 伝え合う子

としました。今年度は、教育目標「あかるく・たくましく・のびゆく子」の実現のために重点目標をシンプルにして、子供たちにも保護者の皆様にも、そして学校全体においてワンフレーズでわかるものとなりました。この「自ら関わり 伝え合う子」実現のために学校の教育活動を進めてまいります。

具体的には、「自ら関わる」という目標達成のために『学びの関わり』と『人との関わり』の二つの方向から進めていきます。『学びの関わり』では、「主体的・対話的で深い学び」となる授業の日常化を進めるとともに、中学校までの9年間を見通して基礎基本の定着を図るような指導を進めていきます。また、『人との関わり』では、学級内での友達との関わり、異学年との関わりについて生徒指導の3機能(「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」)を生かしてよりよい学びの場を作っていきます。

次に「伝え合う」を達成するために「話す」「聞く」「行動する」の3つの視点から教育活動を進めていきます。「話す」については子供たち同士の学び合いの場面の充実を進めます。「書く」についてはノート指導を通して、他の人が見てもわかる文字の書き方を進めると共に、論理的な文章を書いたり理解したりできるように指導を進めます。「行動する」では相手に伝わる意識的な行動がとれるように全校で統一した指導を進めると共に、思いやりの行動を意識させていくように進めます。

以上のように、昨年度までの知内小学校で進めてきたことをベースにしっかりと子供たちが成長を実感できるように1年間「チーム知内小」として学校全体で教育活動を進めてまいりますので、保護者の皆様・地域に皆様には、ご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

～大きく変わります～

今年度のスタートにあたりこれまでと大きく変わることがあります。ご理解・ご協力をお願いします。

- ◎登校時刻は8時から8時20分となります。早く登校しても玄関前に待つこととなりますので、8時過ぎに学校に到着するようにお願いします。
- ◎1時間目のスタートが早くなるとともに下校時刻が早くなります。そのため、これまでと時程は変更になります。(バスの登下校の時刻も変わります。)
- ◎給食用のエプロンは、自分用をもってきて使用します。
- ◎春の家庭訪問を個人懇談に変更します。